

【刊夕】日一十二月一十

定部全一錢貳金 一頁五錢
 料告廣 五錢 一語字三十號 五
 日翌ノ日祝祭大 曜日 日刊休
 治 文 崎 川 人 刷 印 人 輯 編 發 行 發
 五三町橋長町平郡城石縣島福
 番〇三六話電 社開新日每警常 所行發
 社合式株刷印日每警常 所刷印

青年時代の眞價 (一)

三森處雄

學校騒動は青年の道徳思想の問題と見ることが出来ても、左傾運動と道徳思想の問題と限定することは聊か偏狹の嫌を免れぬが、兩者の間に緊密の關聯が存在することは何人も容易く首肯し得る所であらう、併し私は茲に左傾運動と學校騒動の問題を捉へ來つて再び之を論究せんと欲するのではない、要は青年心理と現代思想の上から、青年の道徳思想の問題を考察して、間接に彼の二問題の根柢にも觸れるまでである。

現代の青年には道徳思想が缺乏してゐるとか、共產黨の如く公然道徳を無視する者があるといふ事は、昨今世上に屢々耳にする非難の聲である、果して然らば青年といふものは本來如何なる時代にも道徳思想を缺いてゐるのが本體であるか、將又現代の青年に限つて此の悲難を受けるのであるか、これが私の考察の要點である。

此の問題を考察するに當

つて、私は第一に青年が道徳思想を缺いてゐるとか道徳を無視するとか見るのは新舊思想の相違即ち青年と老人との思想の懸隔から來るものが多い事を明かにしたい、換言すれば青年が全然道徳思想を缺き、又は道徳の權威を無視するといふよりも、青年の抱いてゐる道徳思想と之を批判する人との道徳思想の間に大きな懸隔があり、それがやがて新舊思想の衝突を示してゐるのである。

青年の中に如何なる國にも、又如何なる時代にも共通な犯罪人や不徳非道のものがあることは、掩ふ可らざる事實である、併しこれは青年に限らず成人にもある事で、少數の青年を以て青年全體を批判することは固より不當である、悪人が悪人と判断せられ、且つ社會から非難排斥されることは、當然にして己むを得ぬ次第であるが、何等惡意もなく、犯意もなく、寧ろ青年の純情から誠意を以て熟

心に行つてゐる事が惡罪視され、不道徳視されるのは多く誤解又は意見の相違から起つてゐる、これは青年に對する不當行爲であつて一時青年は壓迫され迫害される事があつても、後には何時か事理明白となる時節が到來する。

出る杭は打たれるといふ俚諺の如く、時流に先んじた意見や思想は多く迫害を受ける。

(常磐文藝)

晩秋の追憶

松彌生

澄みきつた小川のせせらぎ
 鴨のかん高い聲
 舞い落つる枯葉
 目白の友呼ぶ聲
 冷たき晩秋の夕

×

今は亡母と二人
 山に薪をこりて歸るさ
 病める母は歩みもほろ、
 幼き我は薪を背負ひ
 泣きつゝ歸る火も無き我家

×

されど夜のねんねの其の時
 冷たき足を母は兩手に
 温め呉るゝ慈愛の極み
 我は亦泣きつゝ寝むれば
 母は起き出で、獨り衣縫ふ

丹野齒科醫院

日本大學 齒科醫學士 丹野淳

平町白銀町十五番地 (鐵道官舎隣)

夜間も診療致します

安心して 御依頼下さる

難物時計修理工

精幸堂時計店

平町士橋通

ヨウ！モータン！
 い服を求めたね
 斷然三〇年型だよ
 いやコレカネ

例の……「ソレ」

正札堂

六三四電通場車停目町四町平

薄い初霜おちて
 吐く息も朝夕ほの白く
 暖かい冬の御用意は

堅實なる安價品

毛糸1オンス	12錢
小供子ヤケツ	30錢
小供メリヤス	12錢
大人メリヤス	45錢
コットンシャツ	1 ^円 50錢
純毛都	1 ^円 より

買よき店

モリタヤ洋品店

磐城共濟病院

本病院は時局に鑑み八月に往診料左の通低減致候

入院料 一日(本會)

往診料 院長及其他の(平)

尚地方往診も之に應じ低減致候

(各科専門) (醫擔當)

- 内科 小兒科
- 外科 皮膚泌尿科 整形外科 内臓外科 産婦人科 女子泌尿科
- 耳鼻咽喉科
- X光線科
- 物理學的診療科

院長 醫學博士 難

本院主 管 賀

衛生試験所 病氣相談所 救療所 共濟病

昭和五年九月

磐城共濟

平町 電話

看護婦募集

堤防欠壊稻束流失等

出水の被害

郡内に甚大らし

今日正午迄の情報

二日朝来の豪雨の爲め當町地方の各川は意外の増水を
見家屋の浸水、土砂の崩壊
稲束の流失等あり損害

相當甚大の見込であ

るが二十一日正午迄に本社
に集れる被害情報左の如し
平町を貫流する新川は増
水八尺各板橋の流失沿岸
の稲束の流失は百束内外
を數へられてゐる、同町
南町下水は二十日午後十
一時頃急激に増水し兩側
の料理店百數十軒の床上
に浸水大さわざを演じた
尙道路は大川と化しビヤ
樽石油カン等が流れた、
石城郡玉川村谷田川は十三
尺の増水で同村大字天軸地
先堤防約三十間缺壊附近の
四百町歩の水田は大海原と
化し稲束の流失は三萬餘に
昇り浸水家屋は二百軒を越
え大野村の縣道二ヶ處缺壊
この被害は甚大の見込み

平町城山 南側の崖約
十間崩壊したが幸に死傷者
は見なかつた同杉の澤も約
七間位の土砂の崩壊がある

毒ガス地帯の

陣地攻撃

平町青年訓練所生の檢閲

は廿四日午前八時から第

線にある下水路不完全に因
る事を羽岡防疫官の實地調
査に依つて判明した爲め片
側土留を約百卅間に亘りコ
ンクリートに施工したいが
町費多額の折柄で植田町と
しては到底其負擔に耐えな
いから是非此際縣に於て施
工して貰ひ度いと平土木監
督所を経て小柳知事に陳情
書を提出した

共済委員の

貧困救済協

社會課長列席

石城郡共済方面委員會は本
日午前十時から平町會議室
にて貧困救済方法に就いて
協議會を開いたが水谷本縣
社會課長列席、他地方に於
ける社會事業の状況を述べ
青沼錫太郎氏座長席に着い
て議事を開いた

下水路設備

ゼヒにと陳情

植田町長から

石城郡植田町大字仁井田部
落に十二名の腸チフス患者
が発生したが原因は縣道沿

米の貯藏方法は

モミが最も安全

農事試験分場發表

米價暴落對策として政府の
獎勵と相俟つて最近各農家
が盛んに米の貯藏をなして
ゐるが、この貯藏方法に關
し豫て神谷村農事試験場分
場に於て試験中の成績は今
回漸く判明廿一日發表され
たが、それによると

試験の方法は一、單俵貯
藏二、貯米袋貯藏三、鐵
貯藏四、靱貯藏の四方法
で行はれたがその結果は
單俵貯藏は貯藏庫の完全
が期し得られぬと共に米

以上の如き成績にて靱貯藏
が最も安全有利なる事判明
したので、この方法を極力
縣内農家に奨励する事にな
つた尙靱貯藏につきは尙
研究の餘地あるので今冬か
らこれが徹底的試験を行ふ
事になつた

腐敗病豫防

田人に出張

濱通り地方のコンニヤク裁
培は腐敗病發生のため今年
はほとんど全滅の有様だが

名簿登録にからまる

問題にコリてか

平町には縦覽者が多かつた

他町村は矢張無關心

町村會及び衆議院議員資格
者名簿の閱覽は十九日迄二
週間の期限であるが、石城
郡内主だつた町村の閱覽者
を聞くに何れも五六名程度
で十名を突破した箇所は始
どない有様で

山間部の某村などは

一名もなかつたといふ、た
ゞ平町のものは町會三十一名
衆議院三十二名で流石に市
街地だけあるがこれは昨年
度において名簿登録にから
まる問題が起り未だに町議
會選無効の行政訴訟をやつ
てゐる關係から出來得る限
り誤記

脱漏防止に最善を盡

した結果である従つて昨年
度の十名内外に比すれば約

平の東西二ヶ所に

巡查派出所を新設

小名濱警部補派出所も増員

警備網擴張の計劃

統計的に本縣第一の事件數
を有する平警察では最近管
内藤原、小田兩炭礦が不景
氣のため請願巡查を廢止し
たが一方明年度から小名濱
築港工事の着手を見、同方
面に多數土工等が入込むの
で司法行政の警備方面が手
薄となつてゐる處から目下
警察力擴大を計劃されてゐ
る其れに依ると郡内岩崎好
間兩村外二ヶ所に駐在所を
増設し、小名濱警部補派出
所の現在定員三名を五名に
増員し更に平町の東西二ヶ
所に派出所を新設する等々
近く警察警務課に右實施
を要望する

暴行事件

豫審終結

は廿六日開廷

去る十月一日國勢調査の朝
七時頃勿來町太字四澤地内
田甫に草刈中の同町蛭田チ
ヨ(三)に暴行を加へた埼玉
縣秩父郡大瀧村生れ住所不
定無職山中岩次郎(三)の豫
審は平支部中谷判事係で取
調中の處十九日終了二十六
日公判に附する事になつた

平町人事

出生

△新川町八 小川榮造氏長男二郎
△立町九六 阿部軍平氏四男久治

平野球大會

二十三日

平町野球聯盟主催の野球大

子宮病血の道の方は左記の良薬をお用えになれ
ばラクに自宅で退治出來ます



宮温湯 (腰部をアタメ) 子宮病を治す
美神湯 (服薬血の道薬)

一手特約店 **阿康薬舗**
平町古鍛冶町
電話 四四番

壁をクリ抜き強盗が忍入り 主人と妻女を斬る

磐崎村の雜貨商襲はる 兇行は今曉の豪雨中に 停電で真ックラ

今曉三時頃折柄の豪雨を衝き磐崎村大字藤原三井炭礦跡雜貨商草野義春方(三)方裏手の壁を鋭利な刃物にてクリ抜き、停電中の真闇な屋内に一名の賊が忍入り就寝中の前記義春の枕元に手を差入れて金を盗まんとした折、目ざめた義春が氣丈にも賊と組付き格闘となつた處、賊は隠し持つた海軍ナイフ様の兇器を以つて義春の頭部及び肩先に深く斬り、付け反す刃に吃驚して飛び起きた妻女ナオ(三)の左腕を、斬り義春のひるむ隙を見て何れへか逃走し去つた

廿數名の 警官隊急行

捜査に困難

急報に接した平署にては齋藤警部補、中島刑事部長を始め直ちに巡査の非常召集を行ひ廿數名の警官隊がトラックに乗つて現場に走せつけ犯人捜査を開始したが豪雨中の犯行とて既に犯人は何れへか行衛を晦まし捜索に困難を極めて居る

遺留品二點

人相は明らかでない
黒頭巾の男

停電の爲め鼻をつまみ、分らない程の眞暗さに犯人の人相着衣等明らかでない

が妻女の談に依れば黒い頭巾を冠つて居た由で現場には雨合羽、外套、懐中電燈の三點が遺留品として残され足跡はゴム靴らしく其筋では是れを唯一の手懸りとして犯人捜査を開始した

三人家内 相當の蓄財を

被害者草野義春方にては妻女ナオ及び長女フミ(三)の三人家内にて三井炭礦が盛んの際商賣が活潑であつたから少なからざる蓄財ありと見られて居る

意職を失ふ

妻女は輕傷
被害者草野の傷は頭部及び

肩部其他二三ヶ所で出血多量の爲め半ば意識を失ひ取調へ至難であるが生命は取止むべく妻女は輕傷であるから二週間位へで全治の見込である

犯人は 失業者らし

其筋の鑑定に依ると遺留品

錦村老婆殺しの少年 知らぬ存せぬ一點張

きこのう平支部の公判で 豫審の申立を全部否認

稀に見る少年犯として世間を騒がせた石城郡錦村大字久保田仲治の長男助川春治(一七)假名に係る盗、ごう姦、殺人事件の公判は廿一日午後一時半から平支部

酒と間ちがつて 坑夫劇薬を飲む

腹部が膨張生命危し

石城郡内郷村炭坑坑夫菅本安太郎(三)は十九日夜酒と間違つて過酸化水素を嘔み腹部が膨張し生命危と

榮轉部長出發

平署
巡查部長會計本多近氏は本縣警務課へ、同巡查部長高橋市郎氏は郡山へ、刑事竹

容疑者續々 平署に引致

本日正午頃年の頃卅四五才労働者風の男が警官嚴重付添えの上平署に引致され右事件の容疑者として若林警部補取調中であるが更に夕刻迄に二名の容疑者が拉致される事になつて居る

明日のラジオ

廿二日

- 前七、〇〇 ラヂオ体操
- 九、〇〇 氣象通報
- 九、一〇 料理献立 ポイ
- 九、二〇 食肉改良研究会
- 一〇、三〇 家庭講座「家庭に於ける應用藝術」(第八講) 須藤邦郎
- 後〇、〇五 長唄「橋辨慶」 富士田新藏 富士田音松 三味線 竹屋榮二 竹屋榮三 小鼓 望月太田喜三郎

報豫氣天

今晩は北西の風天
氣快復明日は北西
の風晴れたり曇り
幾分時雨の氣味
があります

段高木樂山(解説)四段 萬柏亭(對局者)二段 小 關幸三 八、〇〇 そう曲「松風」 「〇」山室千代子 竹内ッ ネ代 戸村照代 (三絃) 福田富貴代 (胡弓)山下 保代

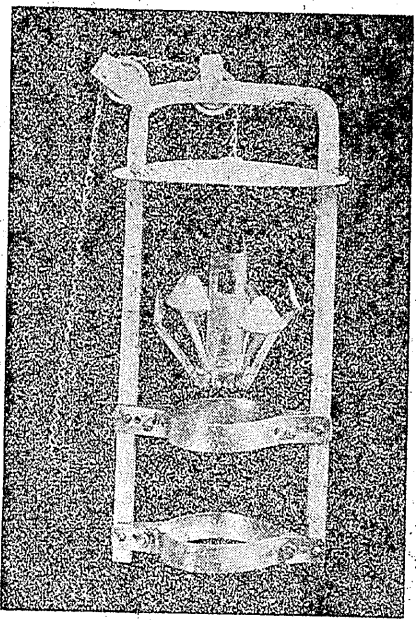
左衛門 住田長作 大鼓 柏扇十郎

- 二、〇〇 ニューズ
- 二、〇〇 文藝講座「詩と日常生活」深尾須磨子
- 六、〇〇 子供の時間 童話「名馬の身代り」近藤潔
- 六、三〇 英語講座「中等科第五講の三」山田巖
- 七、〇〇 ニューズ
- 七、二五 聯珠講座「實戦と講評」指揮及講評)八

飛び込み之を救助した、平署では竹雄を人命救助として近く表彰する等

火災期は今

火災の元は「カマド」の不始末
煙突掃除の不行届」に一番多い
それには先づ弊店發明のムシカマドと
煙突掃除器に依つて防止せられよ



平町三丁目
製造 發賣元
小鍛冶商店

幸いに救助
六才の幼兒
濁流に呑る
平町南町佐藤一男(六)が二

幸いに救助
六才の幼兒
濁流に呑る
平町南町佐藤一男(六)が二

